

# 2015年6月 八王子市議会報告(一般質問)

生活者ネットワーク・社会民主党・市民自治の会 議会報告



なるみゆり

## ▼八王子の生物多様性を守ろう！

高尾山はじめ豊かな自然に恵まれているのが八王子の特徴ですが、近年、動植物の生態系が脅かされています。

Q:「自然豊かなまちのシンボル」である市の鳥オオルリの生息エリアや個体数等、生態系を把握しているか?  
A:市として調査は実施していません。環境保全団体の個体数等の調査結果を活用させてもらっています。

Q:08年に制定された生物多様性基本法に基づき、国家戦略が閣議決定された。八王子市にも地域戦略の策定が必要と考える。まずは生態系の実態調査が必要では?  
A:みどりの基本計画の改定が5年後に控えており、その際には地域戦略づくりに必要な生態系の調査研究について検討していきたい。

Q:高尾山やその周辺で業者によるチョウの採取が目撃されている。乱獲防止のためどのような取り組みをしているか。  
A:高尾地区自然公園地域連絡協議会が高尾山の利用ルールを呼びかけてきた。ルールの周知、PRにより自然環境を保全していきたい。

★生物の多様性を守る取り組みをさらにすすめるよう求めていきます。

## ▼医療刑務所の跡地を新たな文化の発信拠点に

医療刑務所の昭島市への移転に伴い設置された、有識者会議による跡地活用の検討経過がまとめられました。

Q:旧稲荷山小に保管されている、旧高尾自然科学博物館から移管された資料や、市史編さん室で集めた古文書や公文書など、貴重な資料が活用できるようにしてほしい。  
A:郷土資料館の建替え整備計画も調査研究をすすめており、資料の活用も検討していきたい。

Q:この機会を捉え、市民が集える新たな文化発信拠点を作りたい。最終決定段階においても、市民意見を聞く場を設けて市民が納得いく参加のプロセスをとってほしいがどうか。  
A:計画案がまとまった段階においても市民参加の機会を設けていきたい。

★生活者ネットワークでも、13年に子安町のまち歩きを行い、ワークショップを行ったところ、美術館 新しい郷土資料館・図書館などの文化施設を求める意見が多く出されました。6月と7月に市の主催による意見交換会が開かれていますが、今後も更なる市民参加の場が必要です。



前田よし子

## ▼学校給食への地場野菜導入を継続するために

地産地消を進めるため、学校給食への地場野菜導入が進められてきました。市・学校現場・生産者・仲介者が顔を突き合わせ検討会を開き、大きな成果を上げましたが、体制がある程度確立し、役目を終えたとして解散しました。

しかし、配送、納品といった仲介業務の担い手は、高齢者が多く、農家や担当者の「思い」に頼りがちな現状があります。丁寧に築き上げられた協力関係が今後も継続できるかが心配です。市の担当所管のしっかりと連携と、全体を見通した運営を要望しました。

## ▼「タヤけ小やけふれあいの里」を市民に開いて

96年、農業振興を目的に市直営でオープンした「タヤけ小やけ文化農園」。現在の「ふれあい館」は、当初「温室園芸館」といい、JAが委託を受け、1年中イチゴの摘み取りができる温室のほすでしたが、日照不足によりイチゴが育たず、重油代などの維持費がかさみ、来場者が落ち込んだため、2001年より、観光施設として再スタートしました。

Q:今のままで、自然環境や施設を活かしていい。コンセプトを変更し、観光だけではなく、青少年施設、生涯学習施設として位置づけ、より八王子市民に開いて欲しい。また、市民の持ち込み企画ができるようなくみの導入を。  
A:観光拠点という位置づけに沿い、今後も展開していく。市民提案企画に関しては、指定管理者の自主事業と組み合わせ、協議していくことは可能である。

★2017年には、市制100周年記念行事として、都市緑化フェアの開催が決まっております。当施設もサテライト会場の一つにあがっています。本物の緑と共生した暮らしを日々送っている私たち八王子市民がやるのであれば、「100年先の環境を考えるフェア」として、多くの市民参加で開催するべきです。

多額の税金を注ぎ込んで作られた施設をもっと活用しなくてはもったいない。市民の手で使いこなそう！



初めての一般質問に臨みました

▼ごみになるものを買わない！ 教育現場からごみの発生抑制の実践を！  
学校を会場とするイベント、学校にかかわる団体のイベントを行う際、マイ箸、マイカップ、マイボトルの使用を推進、啓発を図るよう提案。学校の補助教材購入の際にも、この観点を徹底するよう要望しました。

## 市民主導の「ご当地エネルギー」で地域自治を取り戻そう！

八王子協同エネルギー（通称：はちエネ）はエネルギーの地産地消、再生可能エネルギーの導入や省エネルギーに関する事業を行うために、2014年春に立ちあがった非営利の一般社団法人です。昨年9月には市民出資を集め、堀之内の牧場の堆肥小屋の屋根をお借りして市民発電所1号機「ユギムラ牧場ソーラー」30kW設置を実現しました。また今年も新たな市民ソーラー発電所（磯沼ミルクファーム、結の会の屋根をお借りします）の設置を予定しています。おがくずや古紙をプレスして作る人工の新（ブリケット）製造や、ペール缶を使うロケットストーブのワークショップ。

## HOT・ほっとコラム

根をお借りします）の設置を予定しています。おがくずや古紙をプレスして作る人工の新（ブリケット）製造や、ペール缶を使うロケットストーブのワークショップ。



## オスプレイが八王子の空を飛ぶ！

5月12日、日米両政府は米空軍のCV-22オスプレイを横田基地に配備すると発表し、基地周辺自治体および東京都に配備の説明を行いました。

空機部品の落下など人命にかかわる事故も起こっており、周辺自治体や東京都からは、改善を求める要請を再三実施しています。



こうした中、オスプレイを配備し、さらに低空飛行や夜間飛行訓練も実施するということが、これは、周辺住民にとって騒音被害と重大事故の危険を増加させることであり、決して認めることはできません。

## 気になるあれこれ

周辺住民は長年航空機の騒音に苦しみ、航

生活者ネットワークは、東京都として都民の安全を守るために、日本政府および米政府に対し、オスプレイの配備の撤回を求めるよう、強く要請します。